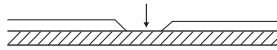


ホーロー補修剤説明書

〔使用 方法〕

1. キャップ（主剤、硬化剤）を取り、それぞれの先端部をキャップの先で押し開けて下さい。
2. 下地処理
補修箇所の錆びや付着物をサンドペーパー等で落とし、油や汚れを除去して、十分に乾燥させておいて下さい。
3. 混合・かく拌
(1) 主剤、(2) 硬化剤を同量押し出しヘラ等でよく練り合わせ、均一に調合します。
調合後、約15分以内に塗布を終えて下さい。ゲル化し始めたものは使用しないで下さい。
4. 充填（塗布）の仕方
混合した補修剤を下図の様な、損傷箇所に充填（塗布）して下さい。



※充填後にヘラ等ですばやく平坦にして下さい。気泡が生じた場合は、針等で取り除いて下さい。

〔注 意 事 項〕

1. 冬季等気温の低い時には、ドライヤー等で加温すると硬化が促進されます。（10℃以下の場合にはなかなか硬化しませんのでご注意下さい。）また、冬季（低温時）等で補修剤が固く出にくくなった時は、チューブを30～35℃位に温めると、柔らかくなり、使いやすくなります。硬化時間は常温（25℃）で約16時間以上、50～60℃で約6時間以上を目安として下さい。暖かい環境温度で養生したり、常温で1週間以上経過すると、完全硬化いたします。
2. 主剤と硬化剤の配合比率（1：1）は厳守して下さい。どちらか一方が多く入り過ぎると、硬化しないことがあります。また、混合・かく拌が不十分だと硬化不良を起こす場合がありますのでご注意下さい。
3. 使用後は、すぐに元のようにキャップで密栓して下さい。（その際、キャップを取り違えますと硬化して使用できなくなります。）

〔取り扱い上の注意〕

1. 取り扱い時は、保護手袋、保護眼鏡、保護マスク等保護具を着用して下さい。
2. 作業場所には、局所排気装置等を設けて換気をよくして下さい。（蒸気等を吸入しないこと）
3. 皮膚に付着した場合、速やかにふき取り、石鹸と水で十分に洗うこと。発疹や腫れが生じた場合は速やかに医師の診断を受けること。
4. 眼に入った場合は、すぐに流水で数分間洗うこと。コンタクトを着用していて、外せる場合は外して洗浄すること。その後必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
5. 取り扱い後は手洗い、洗面、うがいを十分に行って下さい。
6. 衣服等に付着した場合は、すぐに汚染された衣類を脱ぎ、再利用する場合は洗濯すること。
7. 下水や河川等環境への流出を防ぐこと。
8. 取り扱い後はキャップを良く締めて、幼児の手の届かない場所で保管して下さい。

〔含有する主な成分〕

(1)主剤：

ビスフェノールA型エポキシ樹脂、酸化チタン、エポキシシラン、 【危険有害性情報】 皮膚刺激、強い眼刺激、アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ、遺伝性疾患のおそれの疑い、水生生物に非常に強い毒性、長期的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

(2)硬化剤：

変性脂肪族ポリアミン、ベンジルアルコール、P-tert-ブチルフェノール、 【危険有害性情報】 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷、アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ、臓器（中枢神経、腎臓）の障害のおそれ、長期にわたる、又は反復暴露による中枢神経系の障害のおそれ、水生生物に有害、長期的影響により水生生物に有害。

◇製造元：寿化工株式会社 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎724-1